

・今回のがん教育を終えて、がんは誰もがかかる病気だということを知りました。がんと聞くとたくさんの方がかかっているイメージが私にはなく、がんにかかると手術でしか治療ができないと思っていました。でも、お話を聞いて、正しい知識を得ることができて、とても良い機会になりました。私の祖母は一度がんにかかっています。私がまだ小さいころのようで、今と違って家も近くなかったので覚えていません。今回のことをきっかけにどんなことが祖母にあったのか一度聞いてみたいと思います。そして、家族とがんについての話もしてみようと思います。私は、将来薬剤師になりたいと思っています。田久保先生のお話を聞いて、改めてそう思いました。「たくさんの方の役に立つ」そのような人間になれるようにこれからがんばります。自分がかんにかからないように予防したり、もしかかってしまっても自分に合う治療法を探していきたいです。

・今日は、田久保先生、荒居さんから、“がん”について学ぶことができました。日本人の2人に1人はかかってしまう病気で、「他人事ではない」ことを改めて感じました。タバコ、生活習慣が悪いとがんになりやすく、しかもがん細胞は10年～20年も前に存在しているということは初めて知ったし、怖いなと思います。でも、適度な運動を心がけたり、バランスのよい食事をしたり、睡眠をしっかりとることががんの予防にもつながると聞いて、生活習慣を今からでも見直そうと考えました。親友の死によって、検診を受けようと思ひ、早期発見できてよかったなと他人の私も感じました。友達や家族、職場など、自分を必要としてくれる人、場所があるのだと考えるきっかけとなりました。つらいこともあるけれど、それを乗り越えてこそ得られるものが必ずあると信じて、これから先、生きていこうと思います。

・私は、がんが細胞のミスコピーでできることは知っていましたが、10年から20年くらい潜伏していることや、免疫細胞ががん細胞を食べること（殺していると思っていた）などを知り、驚きました。がん予防には、バランスのよい食事、適度の運動、十分な眠りが大切だと知りました。でも、これらを毎日続けていても、がんになることもあるので、検診を受けられるようになったら、必ず受けたいです。あと、お父さんがよくたばこを吸うので、(頻度は一日数本)この話を聞かせて、煙草を控えさせたいなと思います。自分もがんにならないように気を付けながら、これからの人生を生きたいと思います。

・僕は、今日の話聞く前は、がんは怖いものだと思っていました。でも、今日話を聞いて、がんは治るのだと思いました。がんちゃんの話でもあったように、肉を食べすぎないこと、タバコを吸わないこと、適度な運動をすることを心がけたいと思います。荒居さんの話と田久保先生の話でもあったように、自分はがんの検診を受けられるようになったら受けたいです。そして、父にたばこをやめるように言いたいです。今日は、ありがとうございました。